

<学校名> 新座市立栗原小学校
<所在地> 新座市栗原一丁目5番地1号
<電話> 042-473-7070
<本事例の特徴>

本校の外国語科の授業は、教科担任制により第5・6学年ともに同一の教諭が行っている。この教諭は JICA 海外協力隊の経験を生かし、派遣国のコロンビアの知人と教室をビデオ会議アプリケーションで繋ぐことで、児童が学習した内容を実際に使用しコミュニケーションをとる機会を設けている。

<具体的な取組や成果>

①第5学年 <This is me. ～自己紹介、聞いて！～>

“I have two brothers.” “I can play the piano.” など単元の中で学んだ語句やフレーズを使って、実際にコロンビア在住の方と英語でコミュニケーションをとった。生まれて初めて外国人と話すという児童が半分以上で、緊張しながらも貴重な経験になった。

また、コロンビアでも日本のアニメや和食など、日本の文化が人気であることや、14 時間の時差があることに驚いている児童が多かった。



○児童の感想より（一部）

英語で外国人と話すのは初めてだったので、とてもきんちょうしたけれど、ジェスチャーを使ったりゆっくり発音したりしたら伝わったのでとてもうれしかった。正しい英語を使うことも大切だけど、伝えようとする気持ちが一番大切だと思った。

遠い国の人と話しているのが不思議な気持ちになった。僕が、「I like “Sen to Chihiro” .」と言ったら、「Me too!」とうれしそうに言われて、コロンビアでもジブリの映画が見られていることにとってもおどろいた。

②第6学年<This is our school. わたしたちの学校>



“We have a sports day in October.” “We can enjoy music there.” など we を使った表現を用いて、同コロンビア人の方に日本の学校行事や年中行事を紹介した。5年生と同じく外国人と話すことは初体験の児童が多かったが、ジェスチャーや実物を見せたりして、より相手のことを考えて発表ができていた。

また、コロンビアの学校や年中行事のことを知り、キリスト教に関わる行事が多いことや、入学式や卒業式の時期が違うことにとっても驚いていた。

○児童の感想（一部）

「書き初め」をどうやって英語で伝えるか考えた。Caligraphy と言ってから、実際に筆で書いて見せたら、理解してもらえて、とても喜んでもらった。自分はあまり英語が得意ではないから、実物を見せるのはいいと思った。

コロンビアでは卒業式が11月に行われると聞いてびっくりした。よく考えてみたら、なんで日本では3月なのだろうと思った。コロンビアには花祭りがあるらしいので、機会があれば見てみたいと思った。

☆英語でつながる経験

コロンビアの公用語はスペイン語であり、英語は日本人同様、外国語として学ぶ言語である。英語でコミュニケーションがとれるようになると、英語を母国語とする人たち以外の、世界中の人とコミュニケーションがとれるようになるという気付きになった。

☆教師の経験を児童の興味・関心へ

本教諭は、本校在籍中に自己啓発等休業を取得し、JICA 海外協力隊としてコロンビアに派遣され、その後復業した。派遣中は「コロンビアだより」を定期的に本校に送付し、帰国後は自身の体験を児童に伝えている。その結果、自主学習で外国のことやコロンビアのことについて調べる児童が増えた。「サッカーでコロンビア代表が勝ちましたよ!」「コロンビアは今何時ですか。」など本教諭に話しかける児童もおり、遠い南米の国を少し身近に感じられているようである。

コロンビアだより

先生が青年海外協力隊!?

第5号
~コロンビアの学校~

卒業式に参加しました!

¡Hola! <オラ!> ¿Cómo están? <コモ エスタン?>
(やあ、みなさんお元気ですか?)
こんにちは! 岩本先生です。早いもので2019年も残り1か月ですね。今月はコロンビアの学校のことをしょうかいします。日本の学校とちがうところを見つけてみてくださいね!

コロンビアの学校をのぞいてみよう!

その1 学校でおかしが売っている!?

コロンビアの学校には**カフェテリア**と呼ばれる売店があります。休み時間になると、子どもたちが**お金をもってお菓子**を買いに集まります。先生方もここで**お昼ご飯**を食べたり、**コーヒー**を飲んだりします。カフェテリアの昼食は安くおいしいので、授業がある日はここで食べるようにしています。

その2 座席は決まっていない!?

(学校にもよりますが)コロンビアの学校では、「自分の席」はありません。教室に来た順にはしから座っていきます。ちなみに写真のように、いすに台が取り付けられているタイプの机です。また、1年生から11年生まで同じ大きさの机のため、正直1・2年生には座りづらいです。

その3 ふだんは制服、衣装は本気!!

コロンビアの多くの学校では、どの学年でも制服を着ます。制服は、日本の中学校や高校のものとてもよく似ています。そして、文化祭などイベントになると、日本では考えられないくらい本格的な衣装を着ます。

民族衣装や、ディズニーのコスプレ、LEDで光る衣装など、イベントのために本気で衣装を用意します。

その4 12年間すごした仲間とお別れ

コロンビアの学校の**卒業式**は11月の終わりにあります。そして1月から新年度が始まります。卒業式では、11年生一人ひとりが卒業証書を受け取り、最後は**全員がかぶっている帽子**を上に向かって投げます。

コロンビアの学校では、0年生(幼稚園)~11年生まで同じ学校、同じメンバーで過ごします。今までの彼らの17年間の人生のうち、**12年間**という人生のほとんどをいっしょにすごした仲間との思い出はとても大切なものだと思います。

いかがでしたか、日本のちがいを感じられたでしょうか。
12月は、他の国をいろいろと旅してきます。その様子は新年1月にしようかいたします!
¡Hasta luego! ¡Qué estén bien!
<アスタ ルゴ! ケ エスタン ビエン>
(またね! お元気で!)